

真田山周辺で観察された生き物調査報告書 コース 14(B)

報告者:北川ちえこ

日 時:2019 年 7 月 28 日(日)9:30~12:00 くもり

調査者:北川ちえこ、忍喜博、中谷憲一、榊元慶子、松本卓也、中西有美、吉川順子(7 名)

一般参加者:10 名(そのうち親子 4 組・大人 5 名、子供 5 名)

事務局:古曾志まり子

コース:JR「玉造駅」～宰相山西公園～旧真田山陸軍墓地～宰相山公園～真田山公園・マップ No.1

今年も、少し曇り気味で覚悟していたほど暑くはなかったです。しかし WBGT 測定では厳重警戒の警報がしょっちゅう鳴っていました。去年は台風のため調査開始以降で初めての中止となりましたが、今年もその可能性がありました。地球規模で気候が変動し始めているような気がし、7,8 月は台風が来る季節になるのかと感じました。守口市では 7 月 1 日にセミの初鳴きを聞き、遅いなあと思っていました、やはり真田山調査でも脱け殻は非常に少なかったです。草刈りや、清掃の影響もあるでしょうが、いつも沢山の脱け殻が付いているケヤキにさほどなかったのがその証拠でした。今年は 1 か月遅れで出てくるのか、あるいは羽化を来年に延ばすのか、セミそれぞれの判断になるのでしょうか。真田山公園では特定外来種クビアカツヤカミキリを参加者の男性がを見つけました。大阪市ではまだ珍しく、成虫は初めてかもしれないということで、標本として採集し毒瓶に入れ、事務局から公園事務所に連絡してもらいました。サクラ属の木につく害虫として名前は聞いていましたが、見るのは初めてでした。近畿では南から徐々に被害が増えていると聞きましたが、大阪市でも広がっていくのか気になるところです。セミ脱け殻調査でカミキリムシの発見は、虫好きの参加者がいてのことで、特定外来種についての学びの場にもなり、この調査に生き物好きの参加者が増えて欲しいと思いました。

植物、昆虫等虫類、鳥の状況を数字で表示します。

1:葉、卵 2:花、幼虫、幼鳥 3:果実、蛹 4:実生、成虫、成鳥 0:その他 植:植栽

※実生は 150cm までを 4 と表示しそれ以降は通常の状態番号とします。

※植栽樹木は位置の目安として、または花や果実がついている場合のみ記録した。

※2 分の 1 地域メッシュコード(総務省)で分割し、そのコード番号の横()内に記載した No. は旧「みどり」と生き物会議で使用した大阪市域 500m メッシュナンバーである。

※植物科名は 2017 年度より新エングレー体系から APG 体系に変更した。

温度測定を行った:以下の順で記載(記録者:忍義博,中西有美,榊元慶子)

測定地点番号 時刻 WBGT℃ 気温℃ 湿度% のほか事物の放射温度℃

備考:●日陰 ○日向 △半日陰

メッシュ No.523504023(465)

JR 玉造駅西出口(集合場所)

(9:27 WBGT26℃、30.7℃、66%、警戒)

(9:30 WBGT28℃、31.5℃、76%、厳重警戒)

放射温度

9:35 地面 30.3℃(●)

9:40 地面 39.7℃(○)

玉造駅構内セブンイレブン店舗外側・ガラス結露ぎわ 9:35 24.5℃

JR「玉造駅」～宰相山西公園

イネ科…エノコログサ 3

カタバミ科…オッタチカタバミ 2

キク科…オオアレチノギク 2、オニタビラコ 1

トウダイグサ科…エノキグサ 1
ミソハギ科…サルスベリ 2(植)
動物…モンシロチョウ 4

宰相山西公園 9:50~10:05 くもり

(9:50 WBGT28℃、気温 31.7℃、湿度 63%、嚴重警戒)

放射温度

遊具(鉄製) 9:55 35.6℃(○)
地面 10:05 29.0℃(●) 38.4℃(○)
クマゼミ雄 37.9(背中) 鳴き後 34.9℃(腹)

アカネ科…ヘクソカズラ 3
アサ科…エノキ 4
アブラナ科…マメゲンバイナズナ 2,3
イグサ科…クサイ 3
イチョウ科…イチョウ 3(植)
ウコギ科…カボック 1
オオバコ科…オオバコ 1
カキノキ科…カキノキ 3(植)
カヤツリグサ科…クグガヤツリ 2
キク科…ウラジロチチコグサ 1、タンポポ sp1、ヨモギ 1
クマツヅラ科…ランタナ 1
センダン科…センダン 4
ツユクサ科…ツユクサ 1
トウダイグサ科…エノキグサ 1、コミカンソウ 2
ニレ科…アキニレ 4、ケヤキ 1(植)
バラ科…サクラ sp1(植)
ヒユ科…ヒナタイノコズチ 1
ブドウ科…ツタ 1
マメ科…シロツメクサ 2
ムクロジ科…トウカエデ 1(植)
メギ科…ナンテン 3
モクセイ科…ネズミモチ 3(植)
ヤシ科…ソテツ 3
動物…アオスジアゲハ 4、オカダンゴムシ 2,4、クマゼミ 0 脱け殻、4、コシアキトンボ、サクラアリ 4、
セグロアシナガバチ 4、ツマグロヒョウモン 4、ハリブトシリアゲアリ 4、モンシロチョウ 4、ジョロウグモ 2 雌



宰相山西公園の中央部分は日陰がなく乾燥。
清掃が行き届いていた。190728 撮影 柗元慶子



宰相山西公園 南側斜面は緑陰で比較的涼しい。
高木は多いが、抜け殻が少ない。190728 撮影 柗元慶子

旧真田山陸軍墓地草地 10:20~10:35 くもり

(10:10 WBGT28℃、気温 33.1℃、湿度 63%、嚴重警戒)

放射温度

草地地面 10:30 28.3℃(●) 32.0(○)
30.8℃(ショウリョウバッタ)

アオイ科…ムクゲ 2(植)
アカバナ科…コマツヨイグサ 2
アブラナ科…マメゲンバイナズナ 3
イネ科…イヌムギ 2、エノコログサ 2、シマスズメノヒエ 2
カタバミ科…カタバミ 2,3
キク科…アレチノギク 2、ウラジロチチコグサ 2、オニタビラコ 1、ノゲシ 2、ヒメジョオン 1、ブタナ 2
クルミ科…シナサワグルミ 3(植)

サクラソウ科…コナスビ 1
 タデ科…イタドリ 1
 ツユクサ科…ツユクサ 1
 ニレ科…アキニレ 4、ケヤキ 1(植)
 バラ科…ウメ 1(植)、シャリンバイ 1(植)
 ヒユ科…ヒナタイノコズチ 1
 ブドウ科…ヤブガラシ 1
 マツ科…クロマツ 1(植)
 マメ科…シロツメクサ 1
 ミソハギ科…サルスベリ 2(植)
 モクセイ科…キンモクセイ 1(植)、ヒイラギモクセイ 1(植)
 動物…ハシブトカラス 0 声、アオドウガネ 4、アゲハ 4、
 キムネクマバチ 4、クマゼミ 0 羽化殻、4、クロヤマアリ 4、
 シマノメイガ亜科の一種 4、ショウリョウバッタ 2、セグロアシナガバチ 4、トビイロケアリ 4、
 ハリブトシリアゲアリ 4



昆虫の解説に聞き入る参加者児童ら
 190728 撮影 梶元慶子

メッシュ No.523504014 (464)
 旧真田山陸軍墓地草地
 アカバナ科…コマツヨイグサ 2
 イグサ科…クサイ 3
 イネ科…エノコログサ 3
 カタバミ科…オッタチカタバミ 1、カタバミ 2
 キク科…オニタビラコ 2
 センダン科…センダン 4
 バラ科…トキワサンザシ 3(植)、ビワ 1
 マメ科…シロツメクサ 2
 メギ科…ナンテン 3
 動物…クマゼミ 0 羽化殻、4



旧真田山陸軍墓地草地
 伐採された大木の切り株が目立った
 190728 撮影 梶元慶子

メッシュ No.523504023 (465)
 旧陸軍墓地東側
 アブラナ科…マメゲンバイナズナ 3
 イネ科…アキメヒシバ 2、イヌムギ 2
 カタバミ科…オッタチカタバミ 1
 マメ科…シロツメクサ 2

宰相山公園上 10:50~11:05
 (10:35 WBGT29℃、気温 32.8℃、湿度 63%、嚴重注意)
 放射温度

草地(コケの上) 10:40 31.9℃
 アカネ科…ヘクソカズラ 1 宰相山公園
 アサ科…エノキ 4
 イネ科…カモジグサ 3(立枯れ)
 カタバミ科…オッタチカタバミ 1
 クワ科…イヌビワ 4
 トウダイグサ科…ナンキンハゼ 4
 ニレ科…アキニレ 4
 バラ科…トキワサンザシ 3



抜け殻がたくさんついている木を見つけた
 宰相山公園 190728 撮影 梶元慶子

ブナ科…アラカシ 1(植)
 モクセイ科…トウネズミモチ 3、ヒイラギ 1
 ヤマノイモ科…ヤマノイモ 1
 ユズリハ科…ヒメユズリハ 1

宰相山公園下(東) くもり

(10:50 WBGT28℃、気温 33.4℃、湿度 61%、嚴重警戒)
 放射温度

地面 10:50 28.8 宰相山公園下(℃(●) 34.8℃(○))
 遊具(鉄製) 10:55 44.7℃(○)

イグサ科…クサイ 3
 イチョウ科…イチョウ 1(植)
 イネ科…メヒシバ 2
 キク科…タンポポ sp1
 タデ科…ヒメツルソバ 1
 トウダイグサ科…エノキグサ 1

動物…・アリゲモ属の一種 4、エンマコオロギ 2、
 キマダラカメムシ 2、クマゼミ 0 羽化殻、4、クロヤマアリ 4、
 ショウリョウバッタ 2、トビイロケアリ 4



成虫がたくさんいるからといって、
 抜け殻がたくさんついているわけではない。
 宰相山公園 190728 撮影 梶元慶子

宰相山公園坂道下道路 くもり

(11:00 WBGT28℃、気温 33.5℃、湿度 58%、嚴重警戒)

カタバミ科…カタバミ 2
 キク科…オニタビラコ 2、ノゲシ 2
 スベリヒユ科…スベリヒユ 2
 ツユクサ科…マルバツユクサ 1
 トウダイグサ科…コミカンソウ 3



宰相山公園 190728 撮影 梶元慶子

宰相山公園～真田山公園 11:02 くもり

放射温度

10:55
 アスファルト道路 40.6℃(○)
 アスファルト道路白線面 37.9℃(○)

11:00
 マンホール 42.4℃(○)
 マンション
 入口床タイル 40.8℃(○)
 玄関周り植栽葉面 31.4℃(○)
 玄関周り植栽土壌面 33.6℃(●)

11:10
 マンション横マンホール 37.2℃(○)
 ガレージ入口溝板(鉄製) 34.4℃(○)
 真田山プール前・歩道タイルブロック白 40.4℃(○)
 真田山プール横・通路路面レンガ色 40.0℃(○)
 アカネ科…ヘクソカズラ 3
 アカバナ科…コマツヨイグサ 2
 アブラナ科…マメゲンバイナズナ 3
 イネ科…イヌムギ 2、エノコログサ 2、オヒシバ 2、メヒシバ 2



実生のイヌビワ 上町台地には多くみられる
 宰相山公園 190728 撮影 梶元慶子

カタバミ科…オッタチカタバミ 1
 キク科…アレチノギク 2、オオアレチノギク 2、セイタカハハコグサ 2、チチコグサモドキ 2、ノゲシ 2、
 ヒメジョオン 1
 サクラソウ科…クルマバザクロソウ 2
 マメ科…シロツメクサ 2
 動物…アゲハ 4、クマゼミ 4、ツバメシジミ 4

真田山公園テニス場下階段～テニス場横歩道

アオイ科…ムクゲ 2(植)
 アブラナ科…マメゲンバイナズナ 3
 イネ科…イヌムギ 2、オヒシバ 2、シマスズメノヒエ 2、
 ナギナタガヤ 3(立枯れ)、ニワホコリ 3、メヒシバ 2
 キク科…アレチノギク 2、ウラジロチチコグサ 2、
 ヒメジョオン 2
 センダン科…センダン 4
 ニレ科…アキニレ 4
 バラ科…ウメ 3(植)、ヤエヤマブキ 2(植)
 モクセイ科…オリーブ 1(植)



真田山プール横・通路路面を測定
 190728 撮影 梶元慶子

メッシュ No.523504021 (494)

真田山公園

放射温度 ベンチ 11:30 39.3℃(○)
 イネ科…エノコログサ 2、オヒシバ 2、ホソムギ
 カタバミ科…カタバミ 3
 キク科…アレチノギク 2、セイヨウタンポポ 2

メッシュ No.523504012 (493)

真田山公園

(11:25 WBGT31℃、気温 34.9℃、湿度 56%、危険)



真田山公園 グラウンド横
 こちらの高木も昨年の台風被害を受けていた
 190728 撮影 梶元慶子

放射温度 草の上 11:40 30.8℃(○)

アカネ科…ヘクソカズラ 1
 アカバナ科…ユウゲショウ 2
 アブラナ科…マメゲンバイナズナ 3
 イグサ科…クサイ 3
 イチョウ科…イチョウ 1(植)
 イネ科…イヌムギ 2、エノコログサ 2、オヒシバ 2、
 カゼクサ 2、カモジグサ 3(立枯れ)、ギョウギシバ 2
 オオバコ…オオバコ 2、ヘラオオバコ 2
 カタバミ科…カタバミ 2、ムラサキカタバミ 2
 キク科…アレチノギク 2、ウラジロチチコグサ 2、
 ノゲシ 1、ヒメジョオン 2、ヨモギ 1
 センダン科…センダン 4
 タデ科…アレチギシギシ 3
 ツツジ科…ヒラドツツジ 1(植)
 ツバキ科…サザンカ 1(植)
 トベラ科…トベラ 3(植)



遊具付近は芝生が張られていたようだが、高木の幹まわり
 のみ残り、シロツメクサに置き換わられつつあった。
 真田山公園 南側 190728 撮影 梶元慶子

ニレ科…アキニレ 4、ケヤキ 1(植)

バラ科…ウメ 1(植)、シャリンバイ 1(植)

ヒノキ科…カイヅカイブキ 1(植)

マメ科…シロツメクサ 2

ミソハギ科…サルスベリ 2(植)

レンプクソウ科…サンゴジュ 1(植)

動物…スズメ 4、ドバト 4、ウスバキトンボ 4、キマダラカメムシ 2、クビアカツヤカミキリ 4、クマゼミ 0 羽化殻 4、
シオカラトンボ 4 雄、ショウリョウバッタ 4、セグロアシナガバチ 4、タマカタカイガラムシ 2、
ニレハムシ 2(ケヤキ)、ネコハグモ 4、ハリブトシリアゲアリ 4



捕獲したクビアカツヤカミキリ♂
190728 撮影 梶元慶子



クビアカツヤカミキリがいたウメ(一番高い木)
190728 撮影 梶元慶子

特定外来生物「クビアカツヤカミキリ」は・・・

外来生物法により飼育・保管、生きたまま持ち運ぶことが禁止されている。大阪市では、平成 30 年 6 月 27 日(水曜日)、市が管理する都市公園(情報非公開)で初めて、クビアカツヤカミキリ(幼虫?)が発見され、フラス(木くずと糞の混合物)を出していた樹木を伐採し、その周辺の樹木(サクラ属)を対象に、薬剤を散布した。

今回、真田山公園南側のウメの木で発見された成虫はオスで、産卵していたわけではなく、当該樹木はもちろん、公園南部の樹木で、フラスは見られなかったため、この公園で発生したのではなく、たまたま飛来した個体であると考えられる。

この個体は、捕獲後、毒瓶に入れ、大阪市立環境科学研究センターにて、標本として保管することになった。事務局より真田山公園管理事務所に連絡し、周辺を含めて、改めて監視されることになった。



捕獲時は触角が短いと思われたが、標本として整形する際に、体長より長く、オスであると判定した。
クビアカツヤカミキリ 190728 撮影 梶元慶子

参考:

大阪市ホームページ:都市公園におけるクビアカツヤカミキリについて情報提供のお願い

<https://www.city.osaka.lg.jp/kensetsu/page/0000441366.html>

大阪府ホームページ:特定外来生物「クビアカツヤカミキリ」に関するお知らせ

<http://www.pref.osaka.lg.jp/midori/seibututayousei/kubiaka.html>

真田山周辺暑熱環境(WBGT、放射温度測定)調査結果

記録者: 忍義博, 中西有美, 榎元慶子

測定装置

放射温度計 A&D 社製 AD-5613A-BL
暑熱指標計 TANITA 社製 TT-560

調査地域

大阪市天王寺区 玉造本町～真田山町
タイプが異なる4つの公園で脱け殻採集

- ① 宰相山西公園・・・児童公園
- ② 旧真田山陸軍墓地・・・墓地・草地
- ③ 宰相山公園 (三光神社)・・・神社・斜面
- ④ 真田山公園・・・野球場

気温とWBGT(暑熱指標)のまとめ

調査中の天候は薄曇りで、強い日射はなかったが、気温は 31～33℃で、WBGT は「厳重警戒」を示していた。

大阪管区気象台の毎時気温と比較すると、1～2℃高く、環境省 WBGT と比較すると、2～5℃高く、建物や道路、地表面など周辺の影響によって、より暑い数値となっていることがわかる。

最終地点の真田山公園において、危険レベルに達した警報が鳴り、参加者に「危険な暑さ」を体感してもらい、熱中症の予防策について伝えた。

事物の放射温度のまとめ

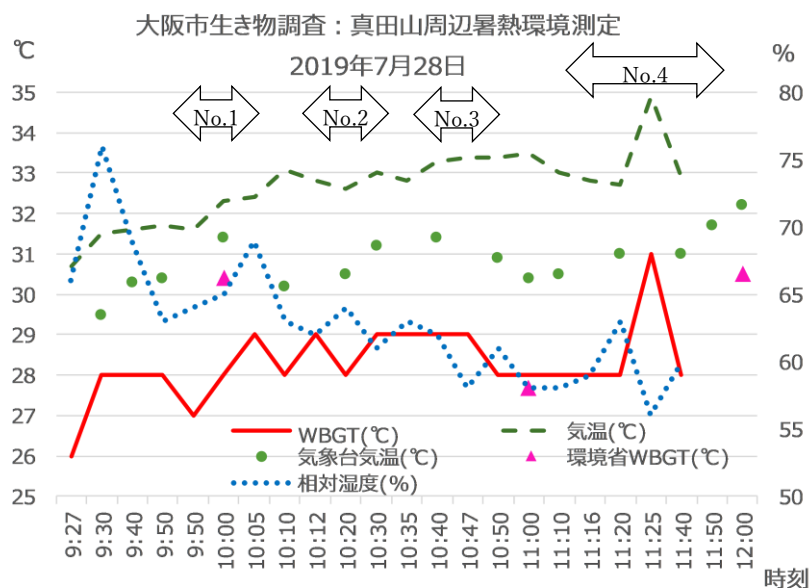
草やコケの上の表面温度は、日向であっても、気温よりも低かった。

日陰では、ほとんどの事物の表面温度は、気温よりも低かった。

11時台では、最も表面温度が高かったのはステンレス製遊具で、マンホールのふた、アスファルト道路と、いずれも日向で 40℃だった。樹脂製ベンチも 39.3℃で、座るには熱すぎる温度だった。

草むらにいたショウリョウバッタは、捕まえてすぐ測定すると 30.2℃であった。鳴いていたクマゼミの背は 37.9℃、腹は 34.9℃だった。

参加者の児童らに、同じ事物の日向と日陰の差や、枯れた樹木と、生きている樹木の表面温度の違いなど解説し、夏休みの自由研究に役立ててもらえるようにした。



調査における測定値と大阪管区気象台気温、環境省 WBGT との比較



調査地点地図